

☆レーザー脱毛治療の注意事項☆

- ① レーザー照射時に、レーザー光線が目にあたると失明する危険性があるので、必ず保護メガネの着用をしていただきます。
- ② レーザー照射時には、キッズ脱毛の付き添いお場合以外、付き添いの方や施術を受けないお子様は施術室には入れません。また、当院では、レーザー照射できない部位があります。
- ③ 脱毛した当日も入浴は出来ませんが、長風呂は避けて最後にシャワーを浴びてください。脱毛照射部位の皮膚には、目に見えないダメージがあるため、ナイロンタオル等で擦らないでください。
- ④ レーザー照射1週間前から、施術部位の日焼けは避けてください。照射後の皮膚は、日焼けに弱い状態ですので、脱毛をしている期間中は継続して日焼け止めを使用してください。特に露出部は、1週間は2～3時間毎に塗り直しをお願いします。また、温泉やエステなど刺激が強いものは、レーザー照射後1週間ほどはお控えください。また、美容のレーザーなどは同日行えません。
- ⑤ レーザーに反応した毛は毛抜き等で無理に抜かず、自然に抜けるのをお待ちください。毛のう炎を起こしたり、炎症後色素沈着になる可能性があります。また、脱毛クリームや脱色は脱毛効果が有効ではなくなる可能性があるため使用しないでください。カミソリでの処理は問題ありません。
- ⑥ 照射後の毛が、数日で伸びてくることもあります。部位・太さ・毛周期により1本ずつ毛の反応が異なりますが、施術回数を重ねる事で減毛していきます。
- ⑦ 照射後に毛孔に赤みが残る場合があります。赤みが残っている場合は、衣類で皮膚が擦れるような激しい運動は控えてください。通常は2～3日で赤みが消えますが、それ以上残るようであれば、当院にご連絡や受診をしてください。
- ⑧ 照射後にひりひり感が続くようであれば、冷やしたタオルなどで冷却を行ってください。この場合、アイスノンや氷などの過度に冷たいものを使用すると、凍傷の危険がありますので、お気をつけください。
- ⑨ トレチノインやディフェリンゲルベピオゲルを使用中の場合、1週間前から中止してください。薬の再開は、脱毛翌日から可能ですが、もし赤みがある場合は赤みがなくなるまで使用を再開しないでください。脱毛部位以外であれば、使用は問題ありません。
- ⑩ 前処理は、カミソリで前日の夜か当日の朝にお願いします。照射直前に処理をすると、赤みやひりひり感が出やすくなりますので、受診前のシェービングをお願いします。また、レーザー照射当日は処理部位に日焼け止め以外、何もつけない状態でご来院をお願いします。

*未処理の場合は、1箇所につき1,500円を別途いただきます。

- ⑪ 顔を脱毛される方で、お化粧品や日焼け止めをしている方は施術の前に洗顔をしていただきます。